

職業実践専門課程の基本情報について

| | | | | | | |
|------------|--|----------------|---|-----------------------|--|----------|
| 学 校 名 | 設置認可年月日 | 校長名 | 所 在 地 | | | |
| 新潟デザイン専門学校 | 昭和51年4月1日 | 加藤一人 | 〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-54 (電話) 025-245-3381 | | | |
| 設置者名 | 設立認可年月日 | 代表者名 | 所 在 地 | | | |
| 学校法人新潟総合学院 | 平成7年3月24日 | 池田祥護 | 〒951-8065 新潟市中央区東堀通1-494-3 (電話) 025-210-8565 | | | |
| 目 的 | デザイン・写真業界にかかわる職業人として、広告・印刷・フォト・商業デザイン制作等に関する技術等について、専門的な知識・能力を身に付け、その知識に基づく実習を通して実務に関する実践的な技術・技能を身に付けることを目的とする。デザイン・クリエイティブ業界の多くの企業や団体と連携し即戦力となる人材育成を行い、また、多くのフォトグラファーやクリエイターの育成により業界の発展に寄与することを目的とする。 | | | | | |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 修業年限 (昼、夜別) | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 専門士の付与 | 高度専門士の付与 |
| 文化・教養 | 文化・教養 専門課程 | 写真科 | 2年(昼) | 2176単位時間 (又は単位) | 平成8年文部省告示第二号 | — |
| 教育課程 | 講義 | 演習 | 実験 | 実習 | 実技 | |
| | 480単位時間 (又は単位) | 単位時間 (又は単位) | 単位時間 (又は単位) | 1696単位時間 (又は単位) | 単位時間 (又は単位) | |
| 生徒総定員 | 生徒実員 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | |
| 40人 | 20人 | 2人 | 6人 | 8人 | | |
| 学期制度 | ■前期：4月1日～8月31日 ■後期：9月1日～3月31日 | | | 成績評価 | ■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ・評価基準はA・B・C・Dの4種 ・方法：作品評価、書類試験結果 | |
| 長期休み | ■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月23日～8月28日 ■冬 季：12月17日～1月4日 ■学 年 末：2月24日～3月31日 | | | 卒業・進級条件 | ・出席率80%以上 ・授業課題の提出 ・卒業制作、修了制作の提出 ・学費完納 | |
| 生徒指導 | ■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 早期の保護者を交えた対応 個別面談、個別作品指導 | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 企業インターンシップ ■サークル活動 (有・無) | |
| 就職等の状況 | ■主な就職先、業界等 写真スタジオ・ブライダル業界・デザイン業界等 ■就職率 ^{*1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{*2} 88.9% ■その他(任意) (平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報) | | | 主な資格・検定 | ・フォトマスター検定 ・ADEC 色彩士検定 ・ビジネス著作権検定 ・コミュニケーション検定 | |

| | |
|----------------|--|
| <p>中途退学の現状</p> | <p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成25年4月 1日在学者 20名（平成25年 4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 20名（平成26年 3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任による個別面談、早期発見による保護者との連携</p> |
| <p>ホームページ</p> | <p>URL: http://www.ncadnet.jp/</p> |

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

デザイン業界では、基本的な技術・知識を基に、最新の多様な変化に対応できる知識技術が求められている。そのため、県内及び県外の就職先企業・インターンシップ先等の各企業等と連携し、現在業界の求めている人材像やスキル等の動向を把握・分析し、専門課程の教育を施すにふさわしい授業科目、授業内容の改善工夫などを行うために教育課程編成委員会を設け、教育内容の質の向上に継続的に務める。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年4月1日現在

| 名 前 | 所 属 |
|--------|-----------------------------|
| 高田 哲雄 | 文教大学 情報学部広報学科 教授 |
| 新保 悟 | ジャムルクルー株式会社 代表取締役社長 |
| 渡辺 淳一郎 | 株式会社アイディ・東和 取締役営業部長 |
| 齋藤 秀一 | NPO 法人 アジアクラフトリンク |
| 明間 芳規 | 株式会社アイ・シー・オープロモーション |
| 加藤 一人 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長 |
| 畑野 裕美 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務部長 |
| 永井 啓司 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長 |
| 吉富 克弥 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長 |
| 小林 敏哉 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長 |
| 岡本 恵美 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長 |
| 平出 恭子 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務 |
| 渡辺 一史 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局長 |

(開催日時)

第1回 平成26年9月5日 17:00～18:00

第2回 平成26年10月3日 17:45～18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

授業で学習している写真撮影技術を実際の撮影現場でどの様に应用して行くかを学ぶ。同時に、仕事を進める上での準備や、撮影時のアシスタント業務などで必要となる知識についても、現場に参加する事で深めて行く事を目的とする。撮影現場での挨拶やコミュニケーションなど社会人として大切な行動学についても実践を通して「気付く」機会とする。

| 科 目 名 | 科 目 概 要 | 連 携 企 業 等 |
|-----------|---|------------------------------|
| 撮影実習 (1年) | 写真撮影に関する基礎技術全般を学ぶ。一眼レフカメラの使い方や照明(ライティング)に関する知識、撮影関連機材の使い方などを実習を通じて身に付ける。 | 株式会社アイディ・東和 株式会社アルビレックス新潟 |
| 撮影実習 (2年) | 撮影実習 I で学んだ基礎技術の応用としてさらに高度な撮影技術について実習を中心に身に付ける。撮影目的に応じたスタジオセッティング技術についても学ぶ。 | 株式会社アイディ・東和 株式会社アルビレックス新潟 |

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門的かつ実践的な知識・技術を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために下記の通り教員研究環境を整える。

- ・教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・スキル研修
- ・県などの公共事業によるセミナー等への参加。
- ・一般社団法人 全国専門学校経営研究会主催の各種教員研修への参加。
- ・学内に設置される付帯教育講座を利用した自己啓発。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 27 年 1 月 20 日現在

| 名 前 | 所 属 |
|--------|----------------------------|
| 丸山 悦代 | 学校法人 大彦学園 開志学園高等学校 教諭 |
| 関本 大輔 | 株式会社アドハウス・パブリック 代表取締役社長 |
| 高橋 徹 | ツムジグラフィカ 代表 |
| 加藤 一人 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長 |
| 山下 まどか | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ncadnet.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ncadnet.jp/>

授業科目等の概要

| (文化・教養専門課程 写真科) 平成 25 年度 | | | | | | | | | | |
|--------------------------|------|------|-----------|--|---------|------|-----|------|----|----------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 |
| ○ | | | 写真史概論 | 写真の発明やテクノロジーの発達による社会の変革を背景に、現代美術の表現様式や代表的な作家とその作品についても学ぶ。 | 1・前 | 16 | | ○ | | |
| ○ | | | 基礎写真工学 | カメラの基本構造と「写真」として現物になるまでの仕組みと、流れを学ぶ。また銀塩系とデジタル系の違いも学ぶ。 | 1・前 | 16 | | ○ | | |
| ○ | | | 基礎光学 | カメラとレンズ、レンズを通る光の関係を学ぶ。「光」とはなにか、撮影時「光」をどう意識していくのかなどを考察。 | 1・前 | 16 | | ○ | | |
| ○ | | | イメージ&アイデア | 作品を創るための発想の仕方やアイデアを形にする方法を簡単な実習を通して培う。 | 1・通 | 32 | | | | ○ |
| ○ | | | 近代デッサン史 | 物の形や形象が人の心理にどんな影響を与えているのかを主に視覚表現を通して考察する。また、簡単な作品を創り、実際に検証する体験も用意されている。 | 1・後 | 16 | | ○ | | |
| ○ | | | 印刷学 | 印刷業界・印刷技術の基礎技術を学ぶ。仕事をするうえでの必要な専門用語や DTP 関連の基礎知識を身に付け、職業意識も高めていく。 | 1・後 | 16 | | ○ | | |
| ○ | | | 色彩構成 | 色彩に関する知識を総合的に学ぶ。色相、明度、彩度など色彩の属性に関する学習と実習を通して色彩士検定の受験を目指す。 | 1・前 | 16 | | ○ | | |
| ○ | | | 機材論 | 撮影に関する機材名の基本知識、使用方法を講義形式で学ぶ。様々な撮影現場で対応できるよう、幅広く学ぶ。 | 1・後 | 16 | | ○ | | |
| ○ | | | 写真基礎 | 写真の光学的原理やカメラの基本構造を学ぶ。撮影レンズの特性、シャッターや絞りの役割など映像技術者に求められる基礎技術を身に付ける。 | 1・通 | 64 | | | | ○ |
| ○ | | | プレゼンテーション | 伝えたいことは殆ど伝わらない」という前提で「話すことと聴くこと」の大切さを学ぶ。修了作品のプレゼンテーションや求職面接での「傾聴力」と「話術」を身に付ける。 | 1・通 | 64 | | ○ | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--------------|---|-------------|-----|--|--|---|---|
| ○ | | | デジタルフォ ト | マッキントッシュコンピューターの基本的な使い 方から応用までを学ぶ。画像処理やデジタル画像デ ータを扱うための基本となる授業。 | 1 ・ 通 | 64 | | | | ○ |
| ○ | | | 暗室講義 | 現像の基本である暗室での技術や、必要な薬品の理 解を深める。基本的な用語や技術から、昨今の写真 現像の流れまで深く学ぶ | 1 ・ 通 | 64 | | | ○ | |
| ○ | | | 暗室実習 | 銀塩写真の処理のプロセスを体験する事で写真の 原理や特性を学び、デジタルフォトの理解を深め る。フィルムの現像処理から印画紙への焼付けなど 写真技術の原点を知る。 | 1 ・ 通 | 128 | | | | ○ |
| ○ | | | 撮影実習 | 写真撮影に関する基礎技術全般を学ぶ。一眼レフカ メラの使い方や照明(ライティング)に関する知識、 撮影関連機材の使い方などを実習を通じて身に付 ける。 | 1 ・ 通 | 128 | | | | ○ |
| ○ | | | 表現実習 | 基本的な撮影方法を学ぶと共に、テーマを決めた作 品の創り方を学ぶ。コンセプトの立案から作品化ま での考え方と撮影技術を実際に作品を制作する事 で身に付ける。 | 1 ・ 通 | 96 | | | | ○ |
| ○ | | | ライティング 実習 | 主に人物の撮影技術を実習を通じて学ぶ。 ポートレートスタジオやウエディングフォト業界 で必要なライティング技術の基礎を習得する。 | 1 ・ 通 | 96 | | | | ○ |
| ○ | | | 印刷実習 | 写真画像処理の代表的アプリケーションソフトで ある「フォトショップ」のオペレーションを実習を 通じて学ぶ。デジタルフォトが主流の写真業界では 必須の知識である。 | 1 ・ 通 | 64 | | | | ○ |
| ○ | | | 修了制作 | 1年間学んだ成果として、自由テーマによる作品制 作と発表(プレゼンテーション)を通して学習成果 の確認を行う。制作の途中で講師によるアドバイ スを受け、作品制作を進める。 | 1 ・ 通 | 160 | | | | ○ |
| ○ | | | マスコミ論 | マスメディア業界の仕組みと仕事の流れを概観し、 その特徴や社会的意義を学ぶ。同時に、社会人とし ての組織での振る舞い方やキャリアデザインの考え 方についても学ぶ。 | 2 ・ 前 | 16 | | | ○ | |
| ○ | | | 社会現像学 | 現代社会の動向を観察、研究する。現代社会におい ての写真の活用法や、実際の仕事における写真の社 会的位置付けを考察する。 | 2 ・ 後 | 16 | | | ○ | |
| ○ | | | 取材学 | マスコミ論の内容から発展させ、情報伝達の為の 「写真」を考察。またデザイン以外にも「報道」と いう分野にも目を向けていく。 | 2 ・ 後 | 16 | | | ○ | |
| ○ | | | 知的所有権論 | 現代において知的所有権に対しての知識はますます 重要となっている。この授業ではクリエイターと して必要な著作権についての基礎知識について学 ぶと同時に初級検定試験合格を目指す。 | 2 ・ 前 | 16 | | | ○ | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|----------------|--|-----|-----|--|--|---|---|
| ○ | | | デジタルフォト | デジタル写真の基本原理と画像再現の仕組みを学ぶと同時にデジタルデータの扱い方やフォーマットの種類、データ管理の方法など実習を通して学ぶ。 | 2・通 | 32 | | | | ○ |
| ○ | | | 現代写真史 | 現代においての写真の歴史を国内外問わず学ぶ。フィルムを使用しての作品からデジタル化が進んだ現代の作品まで、写真技術の変化や作品形態の変化を歴史を通して考察する。 | 2・後 | 16 | | | ○ | |
| ○ | | | 作品批評 | 古今の写真作品について、作家研究という側面から分析してみると同時に、課題作品の合評の中で意見を発表する事で作品の見方や批評力を身に付ける。 | 2・通 | 32 | | | ○ | |
| ○ | | | 商品撮影 | スタジオ撮影、主に「物撮り」の撮影方法を身に付ける事でコマースフォトの基礎技術を学ぶ。商品ライティングの基礎、レンズの選択カメラアングルの調整などについて学ぶ。 | 2・通 | 128 | | | | ○ |
| ○ | | | 撮影実習 | 撮影実習 I で学んだ基礎技術の応用としてさらに高度な撮影技術について実習を中心に身に付ける。撮影目的に応じたスタジオセッティング技術についても学ぶ。 | 2・通 | 128 | | | | ○ |
| ○ | | | 人物撮影 | 1年次で学んだライティングの応用技術を学ぶ。姉妹校のビューティモード専門学校学生とチームを組みファッション撮影実習を本格的に実施。また1年生をサポートしチームリーダーの役割も体験する。 | 2・通 | 128 | | | | ○ |
| ○ | | | 卒業制作 | 卒業資格の審査を受けるため自由テーマによる作品制作と発表（プレゼンテーション）を実施する。 | 2・後 | 160 | | | | ○ |
| ○ | | | クリエイティブフォト | テーブルトップのフードフォト撮影をメインに、ビューポイントの設定、フレーミング、被写体のコーディネートからライティングによる演出など、目的に合わせたイメージを演出するための技術を学ぶ。 | 2・通 | 32 | | | ○ | |
| ○ | | | 写真芸術論 | デザイン分野だけではなく、芸術作品としての写真について考え学ぶ。また写真そのものだけではなく、写真を素材とした芸術作品について考察、デザイン分野の写真との比較を行う。 | 2・通 | 32 | | | ○ | |
| ○ | | | 広告論 | 広告物を制作するにあたっての基本的考え方、専門用語の理解、広告の種類、広告においての写真の位置づけを学ぶ。また広告の歴史を学び、現代においてデザインと写真の関係を考察する。 | 2・後 | 32 | | | ○ | |
| ○ | | | マルチメディア論 | マルチメディアとは何か、現在多様化するメディア媒体やその内容について学ぶ。多種の媒体が複合されている現代のメディアにおいての、写真の関わり方を考察。また動画等の基礎知識も習得する。 | 2・通 | 32 | | | ○ | |
| ○ | | | プレゼンテーションテクニック | 作品制作のフィニッシュとして「見せ方」を工夫する事の重要性を学ぶ。同時に作品の制作意図を的確に伝えるための考え方と技術を身に付ける。 | 2・通 | 32 | | | | ○ |

| | | | | | | | | | |
|----|--|-------|---|-------|-------------|-----|--|--|---|
| ○ | | 構成演習A | 「商品撮影」実習で学んだ撮影技術をベースに、ロケーションによる撮影の方法を学ぶ。実際に事業所を訪問して、店舗、工場などを撮影する事で機材パッキングから搬入・搬出まで体験する。 | 2・通 | 128 | | | | ○ |
| ○ | | 構成演習B | 構成演習Aの内容を更に発展させ、写真の加工からフィニッシュまで行う。撮影技術、写真の加工技術(PCの技術)、最終的な「見せ方」までを考察、実行する。 | 2・通 | 128 | | | | ○ |
| 合計 | | | | 36 科目 | 2176 単位時間 (| 単位) | | | |